

<東淀川区の将来像>

～住んで良かった、住み続けたい東淀川区のまちづくり～

—実現に向けて—

☆まちづくりの基本的考え方

- ・地域の課題は、地域のことを最もよく知る住民等が中心となり、「自助」「共助」を基本とする住民活動を行政が支援。
- ・サービスの提供にあたっては、「ニア・イズ・ベター」を徹底し、可能な限り受け手である住民にサービス内容の選択を委ねていくなど住民により身近な区役所において施策・事業を決定する新たな住民自治・区政運営の実現を目指す。
- ・企画段階から住民の参画を促し、地域住民と区役所が協働して地域課題の解決にむけた取組みを進める。

☆スケジュール

平成24～28年度までの5年間を計画期間とする。

☆ビジョンの実現に向けた取組メニュー

地域が輝くまちづくり

- ・コミュニティのあるまちづくり
- ・健康に生き生きと長生きできるまちづくり
- ・子育てしやすいまちづくり
- ・社会に求められる人の育つまちづくり
- ・人権を尊重する意識の高いまちづくり

便利で快適なまちづくり

- ・災害に強いまちづくり
- ・自然環境や史跡を活かした緑豊かなまちづくり
- ・環境にやさしいまちづくり
- ・移動しやすい便利なまちづくり

区民に愛され、区民に役立つ区役所づくり

- ・区民サービスの一層の向上に向けた窓口サービス改革
- ・ムダを徹底的に排除した効率的な行財政運営
- ・基礎自治体を担う職員づくり
- ・民間活用の積極的な推進

☆取組上のポイント

- ✓ ニアイズベターを徹底し、「自助」「共助」を基本とする新しい自治の仕組みづくり
- ✓ 区役所は地域住民と協働し、地域住民の自律的な活動を支援する役割にシフト
- ✓ 地域活動協議会を中心に自律的な地域経営を目指す